

「一人で作業に取り組めるようになるための自己評価」

～マット編み・さをり織の製作活動における実践～

高等部 職業AB 布クラフト班 池田美香 恩田のぞみ 滝沢雅志

知的障害がある
→理解力が低い

《実態》

- ・指示待ち
- ・製品の善し悪しがわからない
- ・やりがいを感じにくい

《社会で必要な力》

主体的に行動し、一人で作業に取り組む力

《本単元で目指す姿》

- ・作業工程を理解し、自ら取り組む
- ・製品の善し悪しを判断できる
- ・やりがいをもって取り組む



改善の手立て



機能①

【個別課題の明確化】

- ・前時の評価を振り返り、本時の目標を立てる

機能②

【作業工程の理解】

- ・作業工程に沿った評価項目
- ・技能面の評価項目を追加
- ・工程ごとにその都度チェック

機能③

【自己評価】

- ・「一人でできたか」or「教師とできた」で評価

機能④

【判断基準の可視化】

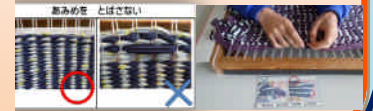
- ・各工程を写真等で提示
- ・良い例と悪い例を写真で比較

マットあみ 自己評価表

月 日 ()	名前	達成度	評価
ナエツク		達成度	評価
①じゅんびを する		達成度	評価
②「ほん ぐださい」と いう		達成度	評価
③あむ	あむ しんぱんを まるる あみめを とばさない ほみだす ぬのの ながさをそろえる	達成度	評価
④でました、みてぐださいを いう		達成度	評価
⑤かたづけをする		達成度	評価
()完了から			

自己評価するための 視覚支援カード

- ・手元に置く
- ・自分で確認し随時チェックする



学習成果の記録として 終了証の発行

完成品の写真
+総合評価



仕事をした達成感

作業意欲を高める。

《生徒の変容》

- 工程表を反映させた自己評価表→教師の指示が減少、「できた！」の積み重ねで自信 up
- 比較写真→製品の善し悪しを生徒自身で判断
- 一人で取り組む→生産性が向上した

